

# 視聴覚教育

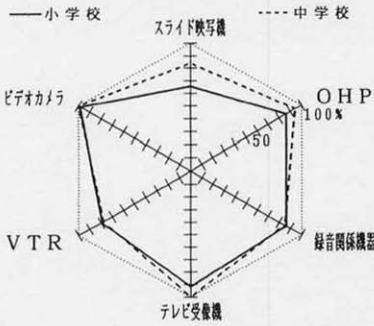
## 視聴覚機器保有調査の報告

視聴覚部研修部会

視聴覚部研修部会では、平成十年六月末に各学校の視聴覚機器の保有状況を調査した。調査内容は、「機器保有状況と保有率」「使用頻度の高い機器」「今後、充実を希望する機器」の三項目である。詳細は、年度末に発行する『岡崎の視聴覚教育第三十号』に掲載する。ここでは、その結果の概略を述べる。

調査の全体的な傾向として、各項目の結果は、昨年度の調査結果とおおむね一致している。

### 視聴覚機器保有率



保有率の高いビデオカメラをさらに充実させたいという学校が多く、機能の充実や画質の向上が求められている。それゆえ、デジタルビデオ

NO. 246  
発行日 10. 10. 1  
発行 岡崎市AVL  
編集 現職教育委員会  
視聴覚部

カメラの導入を検討し始めている学校が増えていることも、注目すべき結果である。

VTRについては、使用頻度の割に保有率が低く、昨年度と変わらぬ状況にある。一層の充実が、期待される。

スライド映写機の保有率や使用頻度の低迷は、即時性に欠ける点や暗幕の必要性からVTRやビデオカメラ、デジタルカメラに役割を譲っているものと思われる。手軽に同様の効果の期待ができる視聴覚機器が求められているからであろう。

《充実したい機器の順位》

機器名	小学校	中学校	総合
ビデオカメラ	1	1	1
デジタルビデオカメラ	2	2	2
VTR	4	3	3
録音機器(含CD機)	3	5	4
教材提示装置	5	4	5
デジタルビデオカメラ	5	5	6
拡大複写機	7	5	7

《使用頻度の高い機器の順位》

機器名	小学校	中学校	総合
VTR	1	1	1
録音機器(含CD機)	2	3	2
テレビ受像機	3	5	3
ビデオカメラ	4	2	4
教材提示装置	4	4	5
パソコン	6	7	6
OHP	7	6	7

(アンケートの集計より主な機器のみ掲載)

### 視聴覚用語

「ドライバ」 デバイスドライバ。パソコンの周辺機器(プリンター、スキャナー、デジタルカメラなど)を利用可能にするためのプログラム。フロッピーディスクやCD-ROMなどからパソコンに読み込ませることで、周辺機器を使えるようにする。機器を接続するだけでは利用できない。

## II 視聴覚教育あれこれ II 教研集会報告

去る九月十七日(木)、第四十八次岡崎市教育研究集会が開催された。視聴覚部会は、根石小学校パソコン室において行われ、助言者に愛知県教育センターの日比孝志先生をお迎えした。参加者四十九名により、「高度情報通信社会に対応する学校での新しい視聴覚教育のあり方を追究しよう」をテーマに、熱心な報告や討論が行われた。発表されたリポート十六点の内容を分類すると次のようになる。

- ・ パソコンの効果的な活用法の研究(7)
  - ・ 視聴覚教材・機器の多様な活用法の研究(3)
  - ・ 先端メディアの活用法の研究(4)
  - ・ 自作ビデオの活用(2)
- 助言者の日比先生には、丁寧な御指導御助言をいただき、最後に次のような言葉でまとめた。いただいた。

参加されている先生方の研究に対する熱意と深さを感じました。さらに、先生方に心掛けてほしいことは、新しいメディアに対して、使えない人、「おやつ?」という人に利用してもらえないよう、裾野を広げる努力をしていただきたいと思います。

なお、「父母と教師の教育を語る会(県教研)」には、島田繁直先生(竜美丘小)、小西博先生(美川中)が選出された。



## まず職員から

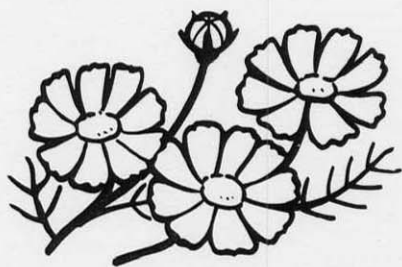
六ツ美西部小 船越 学

本校は、研究推進に関して三つの部会に分かれて研究活動を行っている。その中の教育メディア活用部会では、「まず教師が教育機器を使い、慣れることから始めよう。それを授業に生かし、子供たちのために役立てよう。」といった方針で進めている。

一学期の研究部会では、パソコン教室でネットワーク機能を学習活動に生かすことができるよう、情報教育主任が中心となって校内研修を行った。まず部長が徹底的にマスターすることから始めた。さらに、夏休みには教師全員でパソコン研修を進めた。

内容は、学年ごとに「キッドピクス」を利用した絵を作成し、ネットワーク機能を利用して、自由に閲覧したり、お互いに見合ったり、情報を交換し交流するという場面を設定して行った。子供と同じ目線で楽しく学習（研修）を進めることができた。そうした結果、二学期以降のパソコン室の活用が着実に増えている。

また、三年生の社会科地域学習で、デジタルカ



メラを持って子供たちが取材し、授業で活用した実践を行ったことがあるが、今後は、子供たちが集めたそれらの資料をパソコンに取り込んで学習活動に生かせるよう、教師全員で取り組みたいと考えている。

教師が苦手意識を持っていては、メディア利用は進まない。パソコンだけに限らず多種多様なメディア活用に関する校内研修の充実を今後もしつそう図りたいと考えている。

### II レッツ・トライ II

## 使ってみよう！Windows

全市の中学校のパソコン室に新たに42台のWindows 95搭載のパソコンが導入されました。今までの機種に比べて、授業で使えるソフトや機能が格段に増えています。Windows 95や98ではプログラムの大半をパソコンの中のハードディスクに常駐させています。このためスイッチを入れるとFDやCD-ROMを入れなくてもWindowsが起動します。ただし、終了する時は、直接本体のスイッチを切るのではなく、画面の左下にある「スタート」ボタンから「Windowsを終了する」という項目を選択しなければ、データやプログラムが破壊されることが多くあります。児童・生徒にもWindowsの起動と終了の正しい操作方法として、まず最初に教えてあげて下さい。

(情報教育主任会 広報部)

## ライブラリーだより

☆自作OHP・TP募集の締め切りについて

本年度の自作TP作品の募集締め切りが、十月六日(火)に迫っています。応募規定、応募方法等については、月報「視聴覚教育」九月号でお知らせしたとおりです。視聴覚ライブラリーまで奮ってご応募ください。

☆貸し出しなどの予約について

ライブラリー所有の機材、教材の借用依頼、ダビング依頼などについては、必ず視聴覚主任の先生を通してご連絡下さい。

そして、ビデオテープにはタイトル、学校名を明記しておいてください。完了希望日時については、余裕を持たせておいてください。また、配達・回収の依頼をされた場合、職員室にいる方に日程を知らせておいてください。お伺いをしてお尋ねしても何のことだかよく分からないケースが間々あります。とても内気なライブラリー職員は困ってしまいますのでよろしくお願いいたします。基本的に、火曜日配達、月曜日回収となっています。

☆視聴覚教材作成のお手伝い

ライブラリーでは、ビデオ編集やTP作成、録音編集など、視聴覚教材作成のお手伝いをします。学校や園では面倒な作業でもライブラリーでなら簡単にできることもあると思います。あれこれ悩む前にお気軽にスタッフにお問い合わせください。